



「全国に誇れる、将来に花開く日向のキャリア教育」

日向市立塩見小学校 校長 坂本 哲也

故森信三先生が「教師が己自身、赤々と生命の火を燃やさずしてどうして生徒の心に点火できますか。教育とは厳粛で崇高な仕事、民族の文化と魂を受け継ぎ、伝えていく大事業」と述べられていますが、まさに日向のキャリア教育の考え方であり、全国に誇れるものです。「日向の大人は子供たちの先生」というスローガンのもと、子どもたち、ひいては地域のために多くの方々が熱意をもって取り組んでおられること、そして講師の方の熱意が子どもたちの心に点火し、確実に芽を出し、すくすく育っていることに心から感謝いたしております。「守破離」の言葉の通り、点が線そして形になり、将来の担い手である子どもたちが大きな花を咲かせてくれることでしょう。今後もこのすばらしい地域の良さ、豊かな人材を十分生かしたキャリア教育を推進し、夢と希望と誇りをもった、地域を愛する子どもたちを育てていきたいと思っております。



「キャリア教育に対する思い」

日向市立東郷学園 校長 下り藤 正

子どもの抱く『希望する職業に就く』という夢は「目標」であり、その「目標」の前には「目的」が必要です。例えば『人命を救うことに自分の人生を使いたい』という「目的」を決めると、『どうやって人の命を救うか』という方法を考えます。「医者」のほか、「薬の研究開発者」や「消防士」、「救急車の運転手」も同じです。人生の「目的」が決まれば、たとえ「目標」が変わっても『強い志』があれば頑張っていけるはずです。私は、この考えに立ち、今の子ども一人一人の夢実現に向けて、これからも熱く語り続けていきたいと思っております。



「私のキャリア教育について」

協和病院 薬剤師 宮原 伸

私は病院に務める薬剤師です。現在まで日向市と延岡市の土々呂中学校・東海中学校・日知屋東小学校において講演を行い、出会った生徒たちに今、勉強する目的や目標の定め方などをわかりやすく伝えてきました。

この講演を通じて職業の紹介だけでなく何を子供たちに伝えるべきか考えてきました。

これからは医療人としての役割分担やチーム医療の心構え、病院や薬剤部の構造や機械についての紹介はもちろん、インターネット上に溢れかえる誤った情報を鵜呑みにしない事などを啓発するなどキャリアについての教育だけでなくその職場だからこそ伝えておきたい事柄なども盛り込んでゆこうと思っております。



「目標と継続」

高千穂グリーン(株) 代表取締役 黒木 絹子

先日、富島高等学校へ「よのなか先生」として伺いました。

造園業という男性社会の中で、女性である自分が認めてもらうためにはどうすればいいのか。そして会社を経営していくうえで何を目指したらいいのか。

認めてもらう一つの手段として、毎日1時間机に向かい、5年間で目標の資格・免許を取得したこと。何事も諦めずに向かっていくことで、助け舟が現れたり周囲の理解を得ることができたこと等をお話しました。

お礼状の中に「これまで、土木や造園は男の人の仕事と思っていたけれどお話を聞いて興味が湧いてきた。」とコメントがありました。この一言に私の方が勇気づけられました。

「よのなか先生」に登録したことでたくさんの人との出会いがあり、貴重な経験ができたことを感謝いたします。



平岩小中学校

平岩小中学校7・8・9年生76名

8月30・31日の職場体験に向けての事前学習として「よのなか先生」5人をお迎えして職業人講話を実施しました。

「働くとは?」、「仕事の喜びと苦労」「職場体験学習で大切なこと」、「ふるさと日向市の思い」などについて、話をさせていただき、将来の進路などを考え、2人選び、話を聞くことができました。

- 日本舞踊の花柳絹彩さん
- 谷岩茶舗の谷岩孝彦さん
- 三和消毒の本田順継さん
- アキタ製作所の秋田浩二さん
- 日向保険サービスの木村孝義さん



写真はキャリア教育副読本を使って講話を進める秋田さん

日向高等学校

日向高校フロンティア科1年生41名

日向市と連携協定を締結し、1年生のフロンティア科において「課題型学習」に取り組んでいます。今年で3年目。

「元氣な“日向市”未来創造戦略」に基づいた「日向の若者(ワケモン)“未来づくり”プロジェクト」として、8つの研究テーマを設定、グループごとに研究し、市への提言を目指しています。



6月21日(木)に行われた十屋市長の講話に聴き入る生徒。

この後、「リソース」の活用の講義等を踏まえ、10月から8人のメンターを交え、テーマごとの課題解決に向け研究し、3月に市長に提言をします。

『日向市の いろんな産業 いろんな会社 いろんな仕事』

「子どもたちの未来づくりのための」キャリア教育支援の教材

市内の28事業所のみなさんのご協力、ご理解により「日向市にはどんな企業や仕事があるのか。」「日向市の企業の魅力、仕事の魅力とはどんなものか。」などを掲載した副読本(教材)が出来上がりました。市内の中学2年生に配布し、子どもたちが「よのなか教室」、「出前授業」また社会科などの授業で進路を考えるときに、就職を考えるときの参考にするためにと考えて作られたものです。日本商工会議所ニュースでの紹介のほか、夕刊デイリー、宮崎日日新聞、毎日新聞、読売新聞、市広報でも紹介をされました。

紹介記事



▲広報ひゅうが2018年7月号

- 7月5日(木)新潟県燕市議会から3名が
- ①キャリア教育について
 - ②小中一貫教育について
 - ③英語教育について
 - ④スポーツ振興施策について



行政視察

7月11日(水)には鹿児島県伊佐市教育委員会から教育長をはじめ13名の方々

- ①産官学の連携について
 - ②「よのなか教室」の取組状況について
 - ③「よのなか先生」の登録について
 - ④保護者への啓発、教育について
- 日向の取り組み状況について研修視察にいられ意見を交換しました。

